

プログラム

8月30日(土)

A会場(42階 富士)

8:25-8:30 開会の辞 大宅 宗一(群馬大学大学院医学系研究科脳神経外科学)

8:30-10:15 シンポジウム1: 未破裂脳動脈瘤～エビデンスをいかに実臨床に活かすか。その課題と克服への道のり

座長: 江面 正幸(仙台医療センター 脳神経外科)
吉村 紳一(兵庫医科大学 脳神経外科)
井上 智弘(NTT 東日本関東病院 脳神経外科)

S1-1 Keynote Lecture 1:

非破裂脳動脈瘤のマネージメント～内科医からのメッセージ

岡田 靖(社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院)

S1-2 Keynote Lecture 2:

未破裂動脈瘤破裂リスク ～エビデンスをどう解釈するか

Rupture Risk in Unruptured Intracranial Aneurysms: Rethinking the Evidence

木村 俊運(日本赤十字社医療センター 脳神経外科)

S1-3 高齢者未破裂脳動脈瘤に対する治療～費用対効果の観点から

長内 俊也(北海道大学大学院医学研究院 脳神経外科)

S1-4 無症候性脳動脈瘤に対する外科治療介入とフレイルの影響

堀江 信貴(広島大学大学院医系科学研究科 脳神経外科)

S1-5 当院にて開頭術・脳血管内手術を行なった未破裂脳動脈瘤に対する治療成績の比較検討

榎本 由貴子(岐阜大学医学部附属病院 脳神経外科)

S1-6 近位型未破裂中大脳動脈瘤に対する開頭クリッピングと血管内治療の比較

武田 純一（関西医科大学附属病院 脳神経外科）

S1-7 未破裂脳動脈瘤における低侵襲化の進歩

小林 広昌（福岡大学医学部 脳神経外科）

S1-8 脳動脈瘤の病態形成機序に基づく新規診断治療法開発への展望

栢原 智道（埼玉医科大学国際医療センター 脳卒中外科）

10:20-11:50 シンポジウム 2：無症候性もやもや病 見えてきたリスクへの理解と対策

座長：藤村 幹（北海道大学病院 脳神経外科）
三上 毅（私立札幌病院 脳神経外科）
宮脇 哲（東京大学医学部 脳神経外科）

S2-1 Keynote Lecture 1：

無症候性もやもや病の現在地

黒田 敏（富山大学医学部 脳神経外科）

S2-2 無症候性もやもや病に対する治療介入の意義と課題— Is it truly asymptomatic? —

濱野 栄佳（国立循環器病研究センター 脳神経外科）

S2-3 もやもや病の無症候性半球の症候化に関わる遺伝的および解剖学的リスク因子の解析

宮脇 哲（東京大学医学部 脳神経外科）

S2-4 無症候性もやもや病における RNF213 変異と脳血管狭窄の早期発見：コホート研究より

峰晴 陽平（京都大学医学部 脳神経外科）

S2-5 無症候性もやもや病における出血予測モデル（AMORE スコア）の構築

菱川 朋人（川崎医科大学 脳神経外科）

S2-6 小児・成人もやもや病複合血行再建術後における periventricular anastomosis の経時変化と予後

内野 晴登（北海道大学医学部 脳神経外科）

S2-7 無症候性中大脳動脈狭窄症からもやもや病へ進行する症例の縦断的解析

笹ヶ迫 知紀（京都大学医学部附属病院 脳神経外科）

12:00-13:00 ランチョンセミナー 1：領域講習
開頭手術時の術後合併症を予防するために何ができるか？

座長：栗田 浩樹（埼玉医科大学国際医療センター 脳卒中外科・脳卒中センター）

共催：グンゼメディカル株式会社

LS1-1 合併症の低減を目指して

長山 剛太（東京慈恵会医科大学附属病院 脳神経外科 助教）

LS1-2 non-vascular surgeon の術後合併症対策 ～髄液漏予防を中心に～

佐藤 充（横浜市立大学医学部・医学研究科 脳神経外科）

13:10-13:20 事務局報告（HS賞授賞式）

13:20-14:00 教育講演

座長：塩川 芳昭（一般財団法人 富士脳障害研究所附属病院）

EL ゲノム診療が紐解く脳血管病変マネジメントの新時代

猪原 匡史（国立研究法人国立循環器病研究センター 脳神経内科）

14:10-15:40 シンポジウム 3：無症候性脳動静脈奇形 長期的視点に基づく患者のためのエビデンスを考える

座長：当麻 直樹（三重大学医学部 脳神経外科）
豊田 一則（国立循環器病センター 脳血管内科）
鈴木 祥生（よこすか浦賀病院 脳神経外科）

S3-1 Keynote Lecture 1：

無症候性脳動静脈奇形のエビデンスの限界と実務上の課題

高木 康志（徳島大学大学院医歯薬学研究部 脳神経外科）

S3-2 無症候性脳動静脈奇形に対する治療方針

片岡 大治（国立循環器病研究センター 脳神経外科）

S3-3 DPC データベースから見た ARUBA 以降の本邦の未破裂脳動静脈奇形摘出術の成績 -J-ASPECT study より -

福田 仁（高知大学医学部 脳神経外科）

S3-4 無症候性脳動静脈奇形に対する根治的摘出術

杉山 拓（北海道大学 脳神経外科）

S3-5 非出血発症脳動静脈奇形の治療成績及び自然歴

神徳 亮介（群馬大学医学部 脳神経外科）

S3-6 当院における無症候性を含めた脳動静脈奇形に対する治療戦略と成績

武 裕士郎（埼玉医科大学国際医療センター 脳卒中外科）

S3-7 当院における非出血発症脳動静脈奇形に対する複合的治療戦略

有村 公一（九州大学大学院医学研究院 脳神経外科）

15:45-17:30 シンポジウム4：無症候性頸動脈硬化症 エビデンスの再構築と今知っておくべき知識

座長：片岡 大治（国立循環器病研究センター 病院 脳神経外科）
平野 照之（杏林大学医学部 脳卒中医学）
有村 公一（九州大学医学部 脳神経外科）

S4-1 Keynote Lecture 1：

無症候性頸動脈硬化症のエビデンス 過去、現在、そして近未来

吉田 和道（滋賀医科大学 脳神経外科）

S4-2 頸動脈狭窄症における脳循環代謝低下の非侵襲的バイオマーカー

服部 頼都（国立循環器病研究センター 脳神経内科／認知症先制医療開発部）

S4-3 無症候性頸動脈狭窄症患者の multimorbidity 化とプラークの複雑化に伴う治療方法の変遷

柏崎 大奈（富山大学医学部 脳神経外科）

S4-4 無症候性頸動脈狭窄症を安全に治療するための各モダリティ評価に基づいた層別化CAS 治療戦略

中川 一郎（奈良県立医科大学 脳神経外科）

S4-5 無症候性高度頸部内頸動脈患者に対する内頸動脈内膜剥離術の認知機能と脳血流改善効果の検証

赤松 洋祐（岩手医科大学 脳神経外科）

S4-6 心疾患を併存する無症候性頸動脈狭窄症に対する治療順序最適化のための臨床的アプローチ

吉川 雄一郎（埼玉県立循環器・呼吸器病センター 脳神経外科）

S4-7 頸動脈ステント留置患者における脳循環評価に対する頸動脈圧比（CPR）測定の有用性に関する検討

磯崎 誠（福井大学医学部 脳神経外科学）

S4-8 当院における無症候性頸動脈狭窄症に対する内膜剥離術の現状

寺西 亮雄（埼玉医科大学国際医療センター）

S4-9 無症候性頸部頸動脈狭窄症に対する外科的介入

設楽 智史（滋賀医科大学 脳神経外科学講座）

17:35-18:25 ディベートセッション：エビデンスの狭間に落ちる症例をどうするか？

座長：野川 茂（東海大学医学部附属八王子病院 脳神経内科）

大宅 宗一（群馬大学大学院医学系研究科 脳神経外科学）

榎本由貴子（岐阜大学 脳神経外科）

S5-1 Best medical treatment を行った全周性石灰化を伴う無症候性頸動脈狭窄症の一例

齊藤 徹（埼玉医科大学総合医療センター 脳神経外科）

S5-2 わずかな高次脳機能障害が疑われる成人もやもや病の一例

角田 翔（NTT 東日本関東病院脳神経外科）

S5-3 出血発症成人もやもや病への血行再建術にて血流改善が得られなかった一例：手術適応と次の一手について

水野 寛之（群馬大学大学院医学系研究科 脳神経外科学）

S5-4 直達・血管内複合手術後も難治に経過した内頸動脈後交通動脈分岐部大型動脈瘤の一例

坂田 洋之（東北大学大学院医学系研究科 神経外科学分野）

18:25-18:35 総括：宮本 亨（京都大学医学部附属病院
脳卒中療養支援センター・もやもや病支援センター）
塩川 芳昭（一般財団法人富士脳障害研究所附属病院）

18:35 閉会の辞 大宅 宗一（群馬大学大学院医学系研究科脳神経外科学）

18:50-19:50 イブニングセミナー

座長：大宅 宗一（群馬大学大学院医学系研究科 脳神経外科学）

共催：エーザイ株式会社

※軽食の用意がございます

EV 脳卒中患者のための地域連携：脳卒中後てんかんなどの合併症管理も含めて

藤本 茂（自治医科大学内科学講座神経内科学部門）

プログラム

8月30日(土)

B会場 (42階 高尾)

10:20-11:20 スポンサーセミナー 1：未破裂脳動脈瘤に対する治療戦略

座長：滝川 知司（獨協医科大学埼玉医療センター 脳神経外科）

共催：日本ストライカー株式会社

SS1-1 特徴理解で紐解く Target Coil の活用法

佐藤 圭輔（長岡赤十字病院 脳神経外科）

SS1-2 安全かつ確実な脳動脈瘤治療を目指して：Adjunctive Techniques の Clinical Tips

橋本 幸治（山梨大学医学部附属病院 脳神経外科）

SS1-3 Surpass Evolve の Healing power -Micro から Macro へ-

平井 作京（東京科学大学医歯学総合研究科 血管内治療学分野）

12:00-13:00 ランチョンセミナー 2：領域講習

座長：高橋 淳（近畿大学医学部 脳神経外科）

共催：村中医療器株式会社

LS2-1 無症候性脳血管障害における予防的外科治療の検討において配慮すべき点

吉金 努（島根大学医学部附属病院）

LS2-2 未破裂脳動脈瘤に対する外科治療の考え方

菱川 朋人（川崎医科大学）

14:10-15:10 スポンサーセミナー 2：出血リスクを考慮した抗凝固療法のトータルマネジメント

座長：木村 和美（熊本大学病院 脳卒中治療学寄附講座特任教授）

共催：第一三共株式会社

SS2-1 高齢心房細動患者の optimal anticoagulation

須田 智（日本医科大学大学院医学研究科 神経内科学分野大学院教授）

SS2-2 抗凝固療法患者の多岐なリスク管理とは？？ ～血圧管理を中心に～

吾郷 哲朗（九州大学大学院医学研究院 病態機能内科学 教授）

15:10-16:05 一般演題 1：

**座長：岡本 奨（あいちリハビリテーション病院 脳神経外科）
板橋 亮（岩手医科大学医学部内科学講座 脳神経内科・老年科分野）**

A-1 無症候性病変および症候性病変に対する頸動脈ステント留置術の比較、検討

沼尾 紳一郎（日本医科大学付属病院 脳神経内科）

A-2 頭痛発症小児もやもや病の自然歴

藍原 正憲（群馬大学医学部附属病院 脳神経外科）

A-3 もやもや病における皮質血管構築の分類 ～脳血流への影響と直接バイパスの役割～

清水 立矢（前橋赤十字病院 脳神経外科）

A-4 Hemodynamic changes following clipping of bifurcation cerebral saccular aneurysms

Liew Boon Seng（Osaka Metropolitan University）

A-5 分岐部脳動脈瘤に対する治療戦略

山田 康博（藤田医科大学ばんだね病院 脳神経外科）

A-6 未破裂 large/giant IC-paraclinoid aneurysm に対する血管内治療後、遅発性破裂を起こした症例の検討

宮本 直子（老年病研究所附属病院 脳神経外科）

16:10-17:05 一般演題 2：

座長：川堀 真人（NTT 東日本関東病院 脳神経外科）

齊藤 徹（埼玉医科大学総合医療センター 脳神経外科）

B-1 日本人地域在住高齢者における無症候性頭蓋内血管狭窄の栄養学的危険因子：YAHABA 研究

山口 隆（岩手医科大学附属病院 脳神経内科・老年科）

B-2 ダイナミック 3D-CTA により診断した舌骨と甲状軟骨の機械的刺激に関連する無症候性内頸動脈狭窄症の 1 例

本田 有子（杏林大学医学部 脳卒中医学教室）

B-3 80 歳以上の高齢者における無症候性頸動脈狭窄に対する CAS の適応と成績

荻野 達也（中村記念病院 脳神経外科）

B-4 無症候性頸動脈狭窄症に対する CEA の周術期合併症“0”を目指して

瀬川 将史（NTT 東日本関東病院 脳神経外科）

B-5 脳動脈瘤の血管内治療における Transradial approach の有用性と成功に関わる要因

原口 健一（藤田医科大学ばんだね病院）

B-6 前床突起切除を伴う傍前床突起部内頸動脈瘤クリッピング術における安全性と機能予後の検討

馬越 通有（NTT 東日本関東病院 脳神経外科）

17:15-18:15 スポンサーセミナー 3：脳血管障害の治療

座長：飯星 智史（埼玉医科大学総合医療センター）

共催：テルモ株式会社

SS3-1 急性期血行再建術の諸問題：Sofia,Tron の使いどころ

清水 立矢（前橋赤十字病院）

SS3-2 蛇行血管に対する血管内治療の戦略

－中間カテーテルの有用性を中心に－

藍原 正憲（群馬大学医学部附属病院）

ポスター会場（43 階 ムーンライト）

10:20-11:00 ポスターセッション 1：

座長：木村 尚人（南昌病院 脳神経外科）

P1-1 80 歳以上の無症候性頸動脈狭窄症患者における頸動脈ステント留置術の成績
清水 史記（医療法人清仁会シミズ病院）

P1-2 抗アミロイド β 抗体薬投与中に発症した無症候性皮質微小梗塞についての検討
西垣 明哲（三重大病院 脳神経内科）

P1-3 抗血栓療法下における慢性腎臓病と出血・虚血イベントの関連：BAT2
小川 敦史（国立循環器病研究センター 脳血管内科）

P1-4 横-S 状静脈洞部硬膜動静脈瘻に対する横静脈洞直接穿刺による経静脈的塞栓術の工夫と検討
吉澤 将士（佐久医療センター）

P1-5 高い悉皆性を目指した未破裂脳動脈瘤の単一施設前向き自然歴観察研究
吉田 信介（埼玉医科大学総合医療センター 脳神経外科）

11:00-11:40 ポスターセッション 2：

座長：竹田 理々子（帝京大学附属溝口病院 脳神経外科）

P2-1 脳ドックで発見された病変に対する外科的治療
能代 将平（帯広厚生病院 脳神経外科）

P2-2 放射線治療後の無症候性頸動脈狭窄症に対する頸動脈内膜剥離術
大谷 敏幸（深谷赤十字病院 脳神経外科）

P2-3 無症候性頸動脈狭窄症に対する外科的治療の介入時期

内田 浩喜（国立病院機構仙台医療センター 脳神経外科）

P2-4 無症候性血管障害の手術における腎機能障害合併例の治療方針と周術期管理

鈴木 比女（市立札幌病院 脳神経外科）

P2-5 もやもや病の側副血行路上に発生した動脈瘤に対して複合血行再建術を行なった 1 例

横山 響（前橋赤十字病院 脳神経外科）

プログラム

8月30日(土)

シンポジウム

シンポジウム 1 (8:30 ~ 10:15)

「未破裂脳動脈瘤～エビデンスをいかに実臨床に活かすか。その課題と克服への道のり」

座長：江面 正幸	(仙台医療センター 脳神経外科)
吉村 紳一	(兵庫医科大学 脳神経外科)
井上 智弘	(NTT 東日本関東病院 脳神経外科)

シンポジウム 2 (10:20 ~ 11:50)

「無症候性もやもや病 見えてきたリスクへの理解と対策」

座長：藤村 幹	(北海道大学病院 脳神経外科)
三上 毅	(私立札幌病院 脳神経外科)
宮脇 哲	(東京大学医学部 脳神経外科)

シンポジウム 3 (14:10 ~ 15:35)

「無症候性脳動静脈奇形 長期的視点に基づく患者のためのエビデンスを考える」

座長：当麻 直樹	(三重大学医学部 脳神経外科)
豊田 一則	(国立循環器病センター 脳血管内科)
鈴木 祥生	(よこすか浦賀病院 脳神経外科)

シンポジウム 4 (15:40 ~ 17:20)

「無症候性頸動脈硬化症 エビデンスの再構築と今知っておくべき知識」

座長：片岡 大治	(国立循環器病研究センター 病院 脳神経外科)
平野 照之	(杏林大学医学部 脳卒中医学)
有村 公一	(九州大学医学部 脳神経外科)

ディベートセッション（17：30～18：20）

「エビデンスの狭間に落ちる症例をどうするか？」

座長：野川 茂（東海大学医学部附属八王子病院 脳神経内科）

大宅 宗一（群馬大学 脳神経外科）

榎本由貴子（岐阜大学 脳神経外科）